

事例 1

地上7階 60戸 築40年

1. 共用電力契約 低圧高負荷契約35KW 電気代：90,000円～100,000円/月

① 35KWの内容確認、平成15年直結増圧ポンプに変更

② 主開閉器契約（電子ブレーカー）に変更

③ 共用灯の省エネを図る。

①～③対策を講じることにより、35KWを低減させる。（基本料金の削減）

2. 共用灯の省エネ

①玄関ホール照明 タイマー（夜間蛍光灯消灯）

②廊下照明（各階） 人感センサー

③E Vホール照明 人感センサー

④階段表示灯 撤去（階段灯で充分）、階段銘板に変更

⑤駐輪場照明 白熱灯（100W）を省エネ電球（19W）に交換

①～⑤の対策を講じることにより、約130,000円/年削減。

人感センサー

港区

助成対象



玄関ホール照明



E Vホール照明



階段表示灯

3. その他

①専有部の電気増量について 東電へ確認し対策についてアドバイス

②充電部露出箇所があったので、安全対策を講じる様アドバイス



事例 2 地下3階 地上40階 630戸 築12年

1. 共用電力契約 業務用季節別時間帯別電力2型377KW 電気代：300万円超/月

- ①大震災以降実施している節電対策により、最大電力量は低減（514KW→398KW→377KW）、電気料金値上げ等の影響で電気料金300万円超/月。
節電に終息はないが、管理組合（住民にとって）として、より効率的な節電を勧めた。
- ②夜間（22:00～翌8:00）の電気料金は安い、昼間の電気料金は高く、特に夏季ピーク時間（13:00～16:00）は高いので、昼間・ピーク時間の電気使用料削減の検討をお勧めした。
- ③デマンドシェービングプランは冬期（12月～2月）も対象。暖房の温度を下げる等対策をお勧めした。

2. 共用灯の省エネ

- | | |
|------------------|----------------|
| ①地階トランクルーム照明 | 人感センサー（部分的） |
| ②1Fエントランスホール照明 | LED電球に交換 |
| ③1F EV ホール通路間接照明 | LED照明に交換 |
| ④B1F エントランスホール照明 | LED電球、LED照明に交換 |
- ①～④の対策を講じることにより、約290,000円/年削減。

人感センサー、
港区
助成対象



トランクルーム照明



1Fエントランス照明



B1Fエントランス照明

3. その他

①エントランス前方外壁照明について

現在消灯しているが、エバーライト（無電力方式電球、長寿命、低消費電力）を使用しており、
夜間点灯しても56.7円/日の電気代であるので、マンションのグレードを維持するためにも、
住民の声を聞いて対策を講じることをお勧めした。

- ②照明の間引きは、マンションのグレード、住民の生活環境から判断して取り組む様アドバイスした。

事例 3 地上 10 階 85 戸 築 17 年

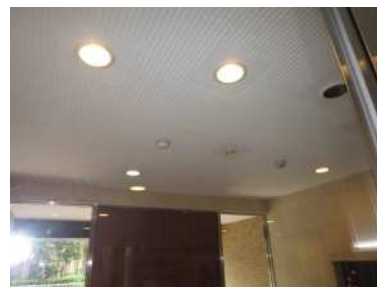
1. 共用電力契約 低圧電力 34KW、従量電灯 C 15KVA 電気代：130,000 円～150,000 円/月
 - ①低圧電力の契約方式変更（負荷設備契約から主開閉器契約・電子ブレーカー）検討
 - ②従量電灯 C 15KVA の見直し、電灯の使用電力量、月平均 2,000KW あるので、低圧高負荷契約の検討（東電へ試算依頼）
 - ③共用灯の省エネを図る。
 - ①～③の対策を講じることにより、34KW+15 KVA を低減させる。（基本料金の削減および電灯使用料金の削減）
2. 共用灯の省エネ
 - ①階段の照明器具（蛍光灯）を更新時に LED 照明器具に交換。。
 - ②外開放廊下の照明器具（蛍光灯）を更新時に、LED 照明器具に交換。
 - ③エントランスホールのダウンライト（省エネ電球）を LED に交換。
 - ①～③の対策を講じることにより、**約 160,000 円/年削減。**



外廊下照明



外廊下照明



1 F エントランス照明